

I 令和3年度事業報告書

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

当財団は、県民が主体となった地域社会の形成を促進するため、NPOやボランティア、生涯学習をはじめとする県民の諸活動の支援、高齢者の生きがいづくりや地域参加の促進及び就業機会の提供に関する事業を行い、あらゆる世代が共に支え合う豊かな埼玉の発展に寄与するという社会的使命を有している。

令和3年度も、新型コロナウイルス感染症の影響により、施設の利用制限や講座・イベントの中止・規模縮小などを余儀なくされたが、感染防止対策を徹底するとともに、事業の一部をオンラインで実施するなど、事業の継続に努めた。

県民活動の支援に関する事業では、NPO法人の運営やボランティア養成に関する講座を実施するとともに、「たまサポ」（彩の国市民活動サポートセンター）を運営し、県民への情報提供や市町サポートセンターのネットワークの強化を図った。

また、多様な学習ニーズに応える事業を実施し、学習機会を提供するとともに、生涯学習の成果を地域に還元できるようボランティア講師を養成した。

さらに、県民活動総合センターが様々な人々の活動の場として利用いただけるよう、感染防止対策を徹底の上、施設を提供した。

高齢者の生きがいづくりや地域参加の促進を図る事業では、高齢者の元気・自立を支援し、地域の担い手となるシニアを育成するため、埼玉未来大学を運営した。当学では、高齢者の元気で自立したシニアライフを支援し、社会デビューのきっかけづくりを行う「ライフデザイン科」と、地域で活躍したいと考えているアクティブシニアを支援する「地域創造科」の2科を設置し、高齢者の多様なニーズに応えるとともに、地域で活躍する人材の育成を図った。

就労意欲のある高齢者の就業や能力の活用促進に関する事業では、高齢者の就労支援の拠点である地域のシルバー人材センターの運営基盤の強化のため、事業や組織の運営に係る助言、法律等の相談や適正な経理事務に向けた会計監査などを行った。

また、労働者派遣事業ではシルバー人材センター会員の拡大のため、就労を希望する高齢者を対象に技能講習や就業体験を実施するとともに、多様な就労機会を提供するため、事務系職種や介護等の人手不足分野を中心に派遣先企業の開拓に取り組んだ。

I-1 事業の概要

1 県民活動の支援に関する事業

(1) 県民活動支援のための講座の開催

- ア 市民活動やNPO法人を支援するため、NPO法人の運営や地域デビューを進める心構えを学ぶ講座を実施した。
- イ 仕事や生涯学習を通して習得した知識や技能を生かし、地域で活躍できるようボランティア講師を養成する講座を実施した。また、ボランティア講師としての活動の場を提供するとともに、スキルアップのためのセミナー等を実施した。
- ウ 県民の多様な学習要求に応えるため、情報化に対応する講座、教養を深め学びを生かす講座、現代的課題に対応するための講座など実施した。

(2) 県民活動団体への支援

- ア たまサポ（彩の国市民活動サポートセンター）の運営
市民活動やNPO法人に関する情報提供・相談を行うとともに、愛称を「たまサポ」とした。
埼玉市民活動サポートネットワークの事務局として、市町の市民活動サポートセンター職員を対象にオンラインで研修会を実施し、関係団体とのネットワークの強化を図った。
- イ 県民活動団体支援事業、次世代育成支援事業
NPO法人やボランティア団体と協働で事業を実施し、団体の活動が活発なものになるよう支援した。
- ウ 彩の国いきいきフェスティバルの開催
オンラインにより、市民活動・NPO法人に関する講演会やシンポジウムを開催し、県民活動団体の活動成果の発表や交流を行った。
- エ NPO活動促進助成事業
埼玉県NPO基金を活用したNPO法人への助成金交付に係る審査事務等を行った。

(3) 埼玉県県民活動総合センターの運営

- サーマルカメラ（体温、マスク着用検知）、消毒液、CO₂濃度計の設置など、新型コロナウイルス感染症感染防止対策を徹底し、施設を適切に維持管理し、利用に供した。
また、コロナ禍においてもニーズのある資格試験や法定講習などの利用を誘致した。

2 高齢者の生きがいづくりや地域参加及び地域貢献の促進に関する事業

(1) 埼玉未来大学の運営

高齢者の元気・自立を支援し、地域の担い手となるシニアを育成するため、埼玉未来大学を運営した。

ア ライフデザイン科

実際に身体を動かしながら、楽しく健康習慣が身につけられるプログラムを実施したほか、地域デビューやSNSの活用などシニアが元気に活躍するための学習を実施した。

前期は5学園、後期は新型コロナウイルス感染症の影響により1学園(川口学園)が中止となったため、4学園を運営した。

また、後期は録画配信講座を試行的に実施した。

イ 地域創造科

NPOの立ち上げと運営を学び、社会参加に繋げる「アクティブコース」及び地域の課題をビジネス手法で解決するソーシャルビジネスの起業と経営を学ぶ「地域ビジネスコース」を運営した。

また、選択講座として、昨年度に引き続き、子どもの居場所づくりやコミュニティカフェ開設等の専門講座を実施したほか、新たに地域観光ボランティア養成講座やまちづくり・場づくり創業講座を実施した。

ウ 卒業後の活躍支援

彩の国市民活動サポートセンターと連携し、卒業生による情報交換会において、今後の活動についてアドバイスを行うなど卒業後の活動支援を行った。

(2) 高齢者いきがい支援事業の実施

ア いきいき創作展の開催

高齢者の日頃の文化創作活動の成果を発表する場として、絵画や写真などの作品展示をオンラインで開催した。

イ 全国健康福祉祭埼玉県選手団の派遣

高齢者の国体と呼ばれる第33回全国健康福祉祭ぎふ大会(ねんりんピック岐阜 2021)は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止となった。

ウ 介護予防のためのシニアレクリエーションセミナーの実施

高齢者の健康づくりを支援するため、介護予防のためのシニアレクリエーションセミナーを開催した。

3 就労意欲のある高齢者の雇用・就業及び能力活用の促進に関する事業

(1) 就業機会の提供

ア 高齢者に多様な就業機会を提供するため、派遣実施事務所との運営会議や実務者研修を開催し、情報の共有化と担当職員の資質向上を図った。

イ 厚生労働省からの委託事業として、シルバー人材センター会員に登録を希望する人を対象に、現場での就業体験や技能講習を実施し、会員の拡大や技能の向上を進め、新規就業を推進した。

ウ 就業支援コーディネーターを設置し、会員と仕事を適切にマッチングさせるための支援を行った。

また、市町村域を越えた広域的な就業を複数のシルバー人材センターが共同で受注する広域需給調整を行った。

(2) シルバー人材センターの支援

埼玉県から指定を受けている「埼玉県シルバー人材センター連合」として、県内のシルバー人材センターの安全で適正な業務運営を支援するため、役職員の研修や法律等の相談などを行った。

また、会員の就業を促進するため、多様な媒体による、会員募集や仕事募集の広報を行った。

(3) シルバー・ワークステーションの運営

派遣先企業を開拓するため、事務系職種や介護、保育、スーパーマーケット等の人手不足分野を中心に企業への営業活動を行った。

また、多様な働き方を紹介するため、派遣就業事例集を発行し、県が認定するシニア活躍推進宣言企業等へ配布した。

令和3年度 事業実施状況報告書

県民活動や生涯学習の支援、高齢者の社会参加の推進、高齢者の就業促進に資する事業を実施しました。

1 県民活動の支援に関する事業

実施事業	R3年度(計画)		R3年度(実績)	
	回数等	人数等	回数等	人数等
(1) 県民活動支援のための講座				
ア NPO活動などの県民活動を支援する講座 県民活動を支援するため、NPOの運営に必要な知識を学ぶ講座や、NPO活動・市民活動を体験する講座、地域づくりの手法を学ぶ講座等を実施した。 ▽NPO基礎講座 ▽シニア共助担い手マッチング事業 新 ▽ボランティア・NPOインターンシップ事業	19回	920人	19回	654人
イ ボランティア講師を養成する講座 仕事や生涯学習の成果として培った知識、技能を生かし、生涯学習ボランティアとして地域で活躍できるように、ボランティア講師を養成し、資質の向上を図るための講座等を実施した。 ▽まなびあい講師塾（入門編） ▽まなびあい講師塾（実践編） ▽まなびあいセミナー ▽スキルアップセミナー ▽交流会 ▽まなびあい講師活動支援事業	29回	1,170人	29回	835人
ウ いきいき生活講座 県民の多様な学習要求に応えるため、ITや文化教養、趣味に関する講座を実施した。 ▽情報化対応力支援講座 ▽文化・教養講座 ▽生活・趣味講座 ▽現代的課題講座 ▽地域探訪講座	32回	1,010人	32回	1,240人
(2) 県民活動団体への支援				
ア 彩の国市民活動サポートセンターの運営 NPO活動、市民活動を支援するための相談、情報提供等を実施するとともに、県内市町の市民活動サポートセンター関係者を対象に、情報・意見交換、研修会を実施した。 ▽NPO・ボランティア相談コーナーの運営 ▽NPO税務会計等相談会 ▽埼玉市民活動サポートセンターネットワークの運営	通年	—	通年	—
イ 情報センターの運営 県民活動に関する図書・資料を収集・提供するとともに、生涯学習・県民活動に関する企画展示を実施した。	通年	—	通年	—
ウ 県民活動団体支援事業 活動団体と協働で事業を実施するなど、活動団体の活性化を支援した。 ▽県民活動団体協働事業 ▽登録団体支援事業	12回	360人	12回	760人
エ 次世代育成支援事業 子育て支援団体と連携し、地域の子育て力が高まるよう講座、相談会等を開催した。 ▽地域子育て支援事業	10回	300人	10回	443人
オ 彩の国いきいきフェスティバルの開催 県民活動団体に対して、日頃の活動成果の発表の場、世代を超えた交流の場を提供するとともに、NPO・ボランティア活動に関する講演会を開催、動画で配信するなど、県民活動の一層の活性化を図った。	1回	2,000人	1回	4,259人
カ NPO活動促進助成事業 埼玉県NPO基金を活用したNPO法人への助成金交付に係る審査事務等を行った。	通年	—	通年	16団体

<p>(3)埼玉県県民活動総合センターの運営 利用者が安心して利用できるよう新型コロナウイルス感染症対策等を徹底するとともに、県民活動総合センターの利便性や魅力の向上を図り、新たな利用者の獲得に努めた。</p> <p>▽保育サービスの運営 ▽広報紙「けんかつ」の発行 ▽ホームページ、SNSの運営、メールマガジンの発行 ▽地元自治体、公的団体等との連携 彩の国いきいきフェスティバル(再掲) けんかつサマーフェスティバル けんかつ鉄道フェア 大学連携講座 けんかつグリーンスクール(おさらい教室) けんかつひる市 けんかつレンタサイクル</p>	通年 通年 12回 通年 通年	750,000人 — 各12,500部 — —	通年 11回 通年 (オンライン開催) (中止) (中止) (オンライン開催) 通年 (中止) 通年	294,989人 — 各12,500部 — — — 通年 通年
<p>(4) 附帯サービス事業【収益事業】</p> <p>ア 飲食等提供事業 利用者サービスの向上のため、飲食等の提供を行った。 ▽県民活動総合センター内の食堂・売店・自動販売機の運営</p> <p>イ 駐車場の管理運営 利用者サービス向上のため、駐車場の運営を行った。 ▽県民活動総合センターの駐車場の管理運営</p> <p>ウ キャリアアップ支援講座開催 専門的知識やスキルを習得し、キャリアアップに役立つ講座を実施した。 ▽資格取得支援講座</p> <p>エ 埼玉の魅力発信コーナー及びコピーコーナーの運営 埼玉にゆかりのある企画展示や県産品の紹介・販売を行い地域の魅力を発信した。 各種資料づくりに役立つコピー機、印刷機、製本機、紙折機等を設置した。 ▽埼玉の魅力発信コーナー ▽コピーコーナー運営事業</p> <p>オ その他、利用者の便宜を図るためのサービス</p>	通年 通年 2回 通年 通年	— — 30人 — —	通年 通年 2回 通年 通年	— — 34人 — —

2 高齢者の生きがいづくりや地域参加及び地域貢献の促進に関する事業

実施事業	R3年度(計画)		R3年度(実績)	
	回数等	人数等	回数等	人数等
<p>(1) 埼玉未来大学の運営 高齢者の元気・自立を支援し、地域の担い手となるシニアを育成するため、「埼玉未来大学」を運営した。</p> <p>ア ライフデザイン科 健康長寿の実現と社会参加の促進を図ることを目的に、高齢者のニーズに沿ったカリキュラムやシニアの社会参加意識の醸成を図るライフデザイン科を運営した。 ▽前期課程【4～9月】5学園(春日部・川越・川口・熊谷・伊奈) ▽後期課程【10～3月】4学園(春日部・川越・熊谷・伊奈) 中止 川口学園</p> <p>イ 地域創造科 地域の担い手育成を目的に、社会デビューに直結する高度で専門的なカリキュラムが特徴の地域創造科を運営した。 ▽アクティブコース ▽地域ビジネスコース ▽選択講座(地域観光ボランティア養成講座、子ども居場所づくり講座、コミュニティカフェ開設講座、まちづくり・場づくり創業講座)</p> <p>ウ 卒業後の活躍支援 彩の国市民活動サポートセンターによる地域とのマッチングや起業に向けた活動の場の提供を行うなど大学卒業後の活躍を支援した。</p>	10学園	800人	9学園 1講座	462人 (録画配信含む)
	2コース 4講座	225人	2コース 4講座	183人
	通年	—	通年	—
<p>(2) 高齢者生きがい支援事業</p> <p>ア いきいき創作展の開催 絵画や写真など、高齢者の日頃の文化創作活動の成果を発表する場を提供した。</p> <p>イ 全国健康福祉祭埼玉県選手団の派遣 高齢者の国体と呼ばれる第33回全国健康福祉祭(ねんりんピック)ぎふ大会に埼玉県選手団を派遣する。</p> <p>ウ 介護予防のためのシニアレクリエーションセミナーの実施 高齢者の体力や認知能力の維持に効果的な運動やレクリエーションを学ぶ機会を提供した。</p>	4日間	—	オンライン開催 (出品数 166点) (HP来訪者数 1,926人)	—
	4日間	136人	中止	—
	4回	160人	4回	118人

3 就労意欲のある高齢者の雇用・就業及び能力活用の促進に関する事業

実施事業	R3年度(計画)		R3年度(実績)	
	回数等	人数等	回数等	人数等
(1)就業機会の提供				
ア 広域的受注調整事業 市町村域を超える広域的な就業の調整を行い、会員の就業機会の確保につなげた。 新 ▽就業支援コーディネーターの設置	通年	—	通年	—
イ 福祉・家事援助サービス推進事業 本事業に従事するコーディネーターや会員の養成や育成を図った。	1回	—	1回	—
ウ 労働者派遣事業(シルバー派遣事業)の実施 多様な就業機会を提供することを目的に、各事務所において実施するシルバー派遣事業の適正な運営を推進した。 ▽運営会議 ▽実務者研修 ▽会員研修 ▽派遣システム研修 ▽衛生管理者試験対策研修 新 ▽産業医の設置	通年	—	通年	—
	5回	—	2回	—
	2回	—	3回	—
	8回	—	9回	—
	2回	—	2回	—
	1回	—	1回	—
			20団体	—
エ 有料職業紹介事業の実施 雇用を希望する高齢者に対し、各事務所において実施する有料職業紹介事業の適正な運営を推進した。	通年	—	通年	—
オ シルバー・ワークステーション事業 介護や保育、小売りなどの人手不足分野を中心に派遣先を開拓し、シニアの働く場の拡大を図った。	通年	—	通年	—
カ 高齢者活躍人材確保育成事業 シルバー人材センターの理解を深めてもらうことで、新規会員の獲得やシルバーを利用する企業の増加を図った。 ▽広報紙やメディア等による周知・広報 ▽清掃や障子張り替え等の就業体験 ▽保育や介護等の技能講習	通年	—	通年	—
	60回	—	47回	—
	16回	—	16回	—
(2)シルバー人材センターの支援				
ア 活動拠点の支援等 ▽シルバー人材センター事業を展開・拡充するための情報提供や助言を行った。 ▽活動拠点に対し、国庫補助金(連合交付金)を交付した。	通年	—	通年	—
	58団体	790,540千円	58団体	791,315千円
イ シルバー人材センターの役職員に対する研修 法人運営やシルバー人材センター業務に関する知識、企画力の向上を図るため必要な研修を行った。 ▽基本研修、専門研修、交流研修 ▽フレイル予防研修	20回	—	19回	—
ウ 団体運営、事業運営、会計処理等に関する相談 専門家による相談窓口を設置し、業務上の問題に対応した。 ▽巡回相談 ▽弁護士相談、会計相談、社会保険労務士相談、税理士巡回相談、シルバー派遣事業相談 相談員による個別相談窓口の設置	20回	—	20回	—
	通年	—	通年	—
エ 会員、就業機会の拡大に向けた普及啓発 財団広報媒体やシルバー人材センター連合のホームページ等を活用し、会員募集や仕事募集の広報を行った。 ▽Webを活用した情報発信の強化 ▽広報紙発行 ▽普及啓発月間 新 ▽入会手続きのオンライン化 ▽埼玉未来大学学生への入会促進 ▽広報紙やメディア等による周知・広報(高齢者活躍人材確保育成事業)	通年	—	通年	—
	12回	—	11回	—
	10月	—	1月~3月	—
	通年	—	通年	—
	通年	—	通年	—
オ 安全・適正就業会議、研修、大会の開催 就業中の事故防止のため、職員や会員を対象とした研修や安全指導を実施した。 ▽安全・適正就業推進会議、安全・適正就業研修、安全就業推進大会、安全指導	6回	—	6回	—
カ シルバー人材センター等運営資金貸付事業 運営資金に余裕がないセンターに対し、資金の短期間の貸し付けを行った。	23団体	150,000千円	22団体	136,000千円

I-2 理事会及び評議員会の開催

1 理事会の開催

(1) 第1回理事会

- ア 日 時 令和3年5月27日(木)
午前10時00分から
- イ 開催方法 電話会議
- ウ 出席者数 理事 8人
監事 2人
- エ 議 案 令和2年度事業報告及び決算報告について
オ 報 告 中期経営計画(令和元年度~令和3年度)の達成状況について
代表理事及び業務執行理事の職務の執行状況報告について
評議員の退任について
評議員の選任について
評議員会の書面開催について

(2) 第2回理事会

公益財団法人いきいき埼玉定款第34条2項の規定に基づく書面表決
令和3年6月10日(木)

- ア 議 案 理事長の選定について
副理事長の選定について
業務執行理事の選定について

(3) 第3回理事会

公益財団法人いきいき埼玉定款第34条2項の規定に基づく書面表決
令和3年10月20日(水)

- ア 議 案 東秩父村社会福祉協議会の埼玉県シルバー人材センター連合への
入会について
規程の改正について

(2) 第4回理事会

- ア 日 時 令和4年3月17日(木)
午後2時00分から
- イ 開催方法 オンライン会議
- ウ 出席者数 理事 6人
監事 2人
- エ 議 案 中期経営計画(令和4年度~令和6年度)策定について
令和4年度事業計画及び収支予算について
規程の制定及び改正について
評議員会の招集について
- オ 報 告 令和3年度事業実施状況報告について
令和4年度組織について
代表理事及び業務執行理事の職務の執行状況報告について

2 評議員会の開催

(1) 第1回評議員会

公益財団法人いきいき埼玉定款第20条第4項の規定に基づく書面表決
令和3年5月13日(木)

- ア 議 案 評議員の選任について
- イ 報 告 評議員の辞任について

(2) 第2回評議員会

公益財団法人いきいき埼玉定款第20条第4項の規定に基づく書面表決
令和3年6月10日(木)

- ア 議 案 評議員の選任について
- 理事の選任について
- 監事の選任について
- 令和2年度決算報告について
- イ 報 告 令和2年度事業報告について
- 中期経営計画(令和元年度～令和3年度)の達成状況について

(3) 第3回評議員会

公益財団法人いきいき埼玉定款第20条第4項の規定に基づく書面表決
令和3年9月8日(水)

- ア 議 案 評議員の選任について
- イ 報 告 評議員の辞任について

(4) 第4回評議員会

- ア 日 時 令和4年3月24日(木)
- 午前10時00分から

- イ 開催方法 オンライン会議

- ウ 出席者数 評議員 12人

- エ 議 案 令和4年度事業計画及び収支予算について

- オ 報 告 中期経営計画(令和4年度～令和6年度)策定について
- 規程の制定及び改正について
- 令和4年度組織について

(5) 第5回評議員会

公益財団法人いきいき埼玉定款第20条第4項の規定に基づく書面表決
令和4年3月31日(木)

- ア 議 案 理事の選任について

I - 3 役職員等

1 役員等の異動状況

(1) 役員 の 状況 令和4年4月1日

理事長	永沢 映	非常勤	R3. 6. 10～	公益財団法人いきいき埼玉理事長 特定非営利活動法人コミュニティビジ ネスサポートセンター代表理事
副理事長	堀光 美知子	常勤	R4. 4. 1～	公益財団法人いきいき埼玉副理事長
業務執行 理事	番場 宏	常勤	R4. 4. 1～	公益財団法人いきいき埼玉業務執行理事
理事	佐伯 鋼兵	非常勤	R3. 6. 10～	公益社団法人さいたま市シルバー人材センター 理事長
理事	落合 一弘	非常勤	R3. 6. 10～	公益財団法人埼玉県老人クラブ連合会 常務理事兼事務局長
理事	恩田 徹男	非常勤	R3. 6. 10～	元埼玉県教育局生涯学習部長
理事	上岡 悦子	非常勤	R3. 6. 10～	彩の国コミュニティ協議会副会長
理事	野島 正也	非常勤	R3. 6. 10～	学校法人文教大学学園理事長

※理事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までである。ただし、補欠として選任された理事の任期は、前任者の任期の満了する時までとなる。

(以上8名)

監事	石川 博康	非常勤	R3. 6. 10～	弁護士
監事	高島 誉章	非常勤	R3. 6. 10～	公認会計士

※監事の任期は、選任後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までである。ただし、補欠として選任された監事の任期は、前任者の任期の満了する時までとなる。

(以上2名)

(2) 評議員の状況 令和4年4月1日

評議員	真砂 和敏	非常勤	R3.6.10～	埼玉県県民生活部長
評議員	杉野 勝也	非常勤	R3.6.10～	埼玉県市長会常勤理事兼事務局長
評議員	富岡 茂雄	非常勤	R3.6.10～	埼玉県町村会常勤理事兼事務局長
評議員	高原 央明	非常勤	R3.6.10～	株式会社埼玉りそな銀行県庁支店長
評議員	齊藤 政春	非常勤	R3.9.8～	株式会社武蔵野銀行常務執行役員地域サポート部長
評議員	蓮見 仁	非常勤	R3.6.10～	埼玉県信用農業協同組合連合会総務部長
評議員	大瀨 陽広	非常勤	R3.9.8～	埼玉縣信用金庫人事部長
評議員	秋谷 明宣	非常勤	R3.6.10～	株式会社埼玉新聞社東京支社長
評議員	島田 厚	非常勤	R3.6.10～	株式会社テレビ埼玉常務取締役
評議員	上木 雄二	非常勤	R3.6.10～	社会福祉法人埼玉県社会福祉協議会副会長
評議員	大鹿 良夫	非常勤	R3.6.10～	一般社団法人埼玉県子ども会連合会会長
評議員	萩原 元昭	非常勤	R3.6.10～	群馬大学名誉教授

※評議員の任期は、選任後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までである。ただし、補欠として選任された評議員の任期は、前任者の任期の満了する時までとなる。

(以上12名)

(3) 理事の退任 (令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

福田 哲也 (令和4年3月31日付け)

安部 里佳 (令和4年3月31日付け)

(4) 評議員の退任 (令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

石崎 篤史 (令和3年6月21日付け)

新井 康裕 (令和3年6月25日付け)

渡邊 哲 (令和4年3月31日付け)

紫藤 健一 (令和4年3月31日付け)

(5) 理事の新規選任 (令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

該当なし

(6) 評議員の新規選任 (令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

真砂 和敏 (令和3年5月13日付け) 埼玉県県民生活部長

高原 央明 (令和3年5月13日付け) 株式会社埼玉りそな銀行県庁支店長

蓮見 仁 (令和3年5月13日付け) 埼玉県信用農業協同組合連合会総務部長

島田 厚 (令和3年5月13日付け) 株式会社テレビ埼玉顧問

齊藤 政春（令和3年9月8日付け） 株式会社武蔵野銀行常務執行役員地域サポート部長
 大瀨 陽広（令和3年9月8日付け） 埼玉縣信用金庫人事部長

※役職は就任時

2 役員数（令和4年3月31日現在）

項目	常勤	非常勤	計	備考
理事	2	6	8	県派遣2
監事	—	2	2	
計	2	8	10	県派遣2

（注）理事8のうち、理事長1、副理事長1、業務執行理事1

3 職員数（令和4年3月31日現在）

項目	人数	備考
事務局長、埼玉県県民活動総合センター所長（注1）	2	県派遣1
総務部長、事業部長、活動支援部長、就業促進部長（注2）	3	県派遣1
課長	11	県派遣3
主査	5	
一般	23	県派遣5
小計（常勤職員計）	44	県派遣10
専門員（短時間勤務職員）	15	
合計	59	県派遣10

（注1）事務局長については、業務執行理事兼務

（注2）活動支援部長については、埼玉県県民活動総合センター所長兼務

I-4 事業報告の附属明細書

定款第9条第1項第2号の事業報告の附属明細書は、事業報告の内容を補足する重要な事項が存在しないので作成しない。